

2021.2 Vol.93

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

発行：野洲図書館

(野洲市辻町410番地)

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>
野洲図書館のホームページから「YAのページ」が見られます。司書のつぐやきなど更新中。あそびにきてね♪

やすど!

Yasu-dokusyo-CLUB

野洲図書館のホームページはこちら→→



今号の内容は…

★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

表紙の1冊

ミラクル中学校のフシギな日常



『恋話(こいばな)ミラクル1ダース』

にかいどう青／作 丸紅茜／絵 講談社 K913/ニカ



未良来(ミラクル)中学校へようこそ。ここでは、恋の生まれる瞬間が日々目撃されています。例えば……。

ニックネームはカクリツ。スーパークラス委員・確田リツヤの照れが最高にかわいい(「爆死確定シークレット」)。お互いに矢を向けている段階で、もう両想いじゃん!!という周囲の総ツッコミをものともせず、校舎を駆け巡り、射つ。つがえられているのは、キューピッドの矢(「ハロー夢装アロー」)。

ふわふわ可愛い女の子の彼氏は、男の子スーツを来た女の子。雨の日にはむれて、ちょっと不便利(「着ぶくれプリンセス」)。すこし不思議でミラクルだけど、意外とリアルな中学生の日常が12編、揃っています。

◆ためになる本、読みたくない。感動する話、受け付けない。そんなときは、この短編をどうぞ。大ケガには無理かもしれないけれど、ささくれにぺたりと貼られる絆創膏くらいの効き目、あります。(ち)



司書のオススメ



YA担当司書からのオススメです♪



『くちぶえカルテット』

モノカキ・アエル／著 実業之日本社 B913.6/㊦/

自分の声が「アニメ声」だからかわれ続けて、声がコンプレックスになった満井星良。吹奏楽の音に魅了されて、名門・志戸学園の吹奏楽部に入部した星良は、練習の厳しさに落ち込んでいた。退部するか悩んでいた時、親友の森村柚葉にたまたま吹いていた口笛を聞かされてしまう。練習の合間に一緒に吹こうと誘われて口笛と一緒に吹くようになり、星良は次第に口笛が自分の「音」だと感じるようになる。打楽器パートのグループから浮いていた小鳥遊真子、口笛上級者で吹奏楽部の部活に来なくなった成瀬絵留も誘って、口笛の演奏動画を撮ることになるのだが……。

◆作者はなんと Vtuber(バーチャルユーチューバー)!! 動画も見つつ、読み進めていくとアエル先生のエッセンスが散りばめられているのがわかります。柚葉を中心に4人の仲が深まっていくのは青春を感じ、まさしく「スタンド・バイ・ミー」の曲が流れてくる様です。特に4人が繋がるきっかけになった「かえるのうた(輪唱)」のクライマックスシーンは必見です!! (よ)



『放課後探偵団 2』

青崎有吾、斜線堂有紀ほか／著 東京創元社 B913.68/㊦/

演劇部に代々受け継がれている舞台用の赤いパンプスが行方不明となった「赤い靴盗難事件」に、靴研究会の久津跡愛美と生徒会役員の明日葉薫が挑む「その爪先を彩る赤」。新聞部が格技場裏に落ちていたタバコの吸い殻の犯人を突き止めようと奮闘する「あるいは紙の」。他三編の計五編から成る学園ミステリ・アンソロジー。

◆タイプの違うミステリを楽しめるのが、アンソロジーのだいご味です。特徴的なのは、エピソードによって語り手の視点が異なること。探偵・助手・そして……の視点なのですが、同じ探偵でも、事件の真相に迫り犯人の心情を明らかにする探偵もいれば、自分自身の葛藤と向き合う探偵もあります。探偵の心情に気付く鋭い助手もいて、謎を盛り上げてくれます。一緒に謎解きするもよし、悩みや葛藤と向き合うもよし、もちろん両方味わうもよし。ミステリ好きも、読んだことない人も楽しめる1冊です。

(い)

『放課後探偵団』 東京創元社
相沢沙呼, 梓崎優, 似鳥鶏ほか/著

7巻も♪





『妖怪クラスメイト』

無月兄／著 KADOKAWA K913/ムツ

高校1年生の五木麻里は、小さい頃から妖^{あやし}が見えていた。正直にそのことを話すと大人には笑われ、友だちからは嘘つき扱いされた。妖に見えることを気づかれるとその妖に襲われることもあった。麻里は自分の身を守るため、出来るだけ妖に気づかないフリをするようになった。ある日の学校帰りに妖を見つけ、いつも通り気づかないフリをしていた麻里だが、急に近くで話しかけられ驚いてしまう。妖に襲われそうになった麻里だが、クラスメイトの朝霧晴が通りかかって何とか妖を追い払うことができた。麻里は妖のことをごまかし、晴も追及はしない。麻里が秘密を抱えていたように、晴もまた大きな秘密を抱えていた。

◆舞台が田舎町ということもあって、「〇〇友人帳」みたいと思っていたら作中でも少し触れられていて驚きました。かわいらしい妖は出てこず麻里達が出会う妖は不気味で怖い存在ばかりです。心細い毎日を過ごす中、同じく妖が見える晴は本当に頼りになる存在。彼の大きな秘密を知って行動する麻里に、胸キュンさせられました。(よ)

『エリーゼさんをさがして』

梨屋アリエ／著 講談社 K913/リ

環奈ちゃんと一緒にピアノ教室に通い、ピアノを弾くことが大好きな亜美。それなのに、才能がないからという理由で母親に教室をやめさせられてしまう。ショックを受ける亜美が帰り道に出会ったのは、ピアノのブローチを付けたおばあさん。亜美はおばあさんを心の中で「エリーゼさん」と呼び、気にかけるように。エリーゼさんに出会った日から、ギター片手に動画を投稿する女子高生「ポーラ C」、同じクラスで絵の上手な水野くん、デイサービスの人たち……亜美はいろいろな人と巡り合う。

◆親との衝突、進路の不透明感、友だち関係、趣味のこと、部活の悩み、「これって恋?」。これぞ青春、という要素が濃縮されています。亜美の気持ちが手に取るようにわかる、リアルさ。そうそう、中学生の時ってこんなに繊細やった……って、君はなんて大胆さや、水野くん！乙女にそんなことしたらアカンで！///キャラの濃い仲間たちに背中を押され、自分の世界を見つけていく姿に心温まります。(ざ)



『妹の好きなVtuberが実は俺だなんて言えない』

芦屋六月／著 KADOKAWA(電撃文庫) B913.6/リ

長らく口をきいていなかった妹のひおりが夢中なのは、Vtuber「爽坂いづる」。それは、「俺」——！爽坂に恋心を抱く妹に、正体を隠す玲仁^{れいひと}。オフ会、ライブ、電話中継など次々とやってくる困難を乗り越えていけるのか！？

◆ひおりちゃんが天然でかわいいなあと思っていましたが、玲仁もなかなか脇が甘い。(いとおいしい兄妹だな!)垢めけたひおりの友達・杏子、爽坂大好き Vtuber・いのん、お嬢様系クラスメイト・京島さんなど、次々に現れる女子たちにドギマギする玲仁の様子に思わずニヤニヤ。肩の力を抜いて楽しめるラブコメです。(ざ)



NEW ARRIVALS

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
13歳からの「ネットのルール」	小木曾 健/監修	メイユニバーサルコンテンツ
司書のお仕事 2	大橋 崇行/著	勉誠出版
青春の本棚	高見 京子/編著	全国学校図書館協議会
ギネス世界記録 2021	クレイグ・グレンディ/編	角川アスキー総合研究所
「本当の友達がいなくてさびしい」と思ったとき読む本	大嶋 信頼/著	KADOKAWA
中高生からの防犯	武田 信彦/著	ペリかん社
1日3分読むだけで一生語れるモンスター図鑑	山北 篤/著	すばる舎
科学者になりたい君へ	佐藤 勝彦/著	河出書房新社
人は見た目!と言うけれど	外川 浩子/著	岩波書店
音楽で生きる方法	相澤 真一/著	青弓社
いじめられてしんどい君へ	三遊亭 究斗/著	プレジデント社
このライトノベルがすごい! 2021	『このライトノベルがすごい!』編集部/編	宝島社
見た目レンタルショップ 化けの皮	石川 宏千花/著	小学館
美爆音!ぼくらの青春シンフォニー	オザワ部長/著	岩崎書店
ウィズ・ユ一	濱野 京子/作	くもん出版
日向丘中学校カウンセラー室	まはら 三桃/著	アリス館
教室に並んだ背表紙	相沢 沙呼/著	集英社
本好きの下剋上 第5部[4]	香月 美夜/著	T0 ブックス
Babel 3	古宮 九時/著	KADOKAWA
鬼滅の刃 [3] 風の道しるべ (JUMP J BOOKS)	吾峠 呼世晴/原著	集英社
劇場版鬼滅の刃 無限列車編/ベライズ	吾峠 呼世晴/原作	集英社
終電間際オンライン	七月 隆文/著	KADOKAWA
オン・ザ・カム・アップ	アンジー・トーマス/作	岩崎書店
列車探偵ハル	M.G. レナード/著	早川書房
オール★アメリカン★ボーイズ	ジェイソン・レノルズ/著	偕成社
この素晴らしい世界に祝福を! よりみち2回目!	暁 なつめ/著	KADOKAWA
17歳のラリー	天沢 夏月/著	KADOKAWA
プロペラオペラ 3	犬村 小六/著	小学館
エンドブルー	入間 人間/著	KADOKAWA
創約とある魔術の禁書目録(インデックス) 3	鎌池 和馬/著	KADOKAWA
青春ブタ野郎はナイチンゲールの夢を見ない	鴨志田 一/著	KADOKAWA
ソードアート・オンライン 25	川原 礫/著	KADOKAWA
放課後の嘘つきたち	酒井田 寛太郎/著	早川書房
キノの旅 23	時雨沢 恵一/著	KADOKAWA
魔王学院の不適合者 1-8	秋/著	KADOKAWA
涼宮ハルヒの直観	谷川 流/著	KADOKAWA
放課後の宇宙ラテ	中西 鼎/著	新潮社
『嵐が丘』を継ぐ者	野村 美月/著	KADOKAWA

編集後記：◆ささくれを剥く行為がやめられません。私に必要なのは、本物の絆創膏のようです。(ち) ◆今年元旦に初詣に行かず、家で録画した年末特番を見ました。「あれ?違和感がない。」と思ったら2日目以降は大体こんな感じだったらいい。(よ) ◆YA担当になり、自分が中高生だった頃よりラノベに触れる機会が増えました。読書に早いも遅いもない。今ラノベの面白さに気付いて良かったです。(い) ◆「ペトリコール」。『妹の好きなVtuber〜』で初めて知った単語です。あの匂いにそんな名前があったとは!私も好きです。ペトリコール。(ざ)